

## 第6回匝瑳市まち・ひと・しごと創生市民会議 会議録

開催日時
平成29年11月9日(木) 9:30～11:50
開催場所
匝瑳市民ふれあいセンター第1会議室
出席者
太田市長 委員長 鎌田元弘 副委員長 鈴木日出男 委員 伊藤静、田邊久利、岩井清、荒川裕司、長谷川茂、高橋秀喜、 椎名勤、石塚貴義、江波戸友美、加瀬功一  (事務局) 企画課：大木課長、林まちづくり戦略室長、伊藤主任主事 産業振興課：田中副主幹、木内副主査
欠席者
委員 大塚榮一

※委員については敬称略

会議内容
<p><b>【次第】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 開 会</li><li>2 委嘱書交付</li><li>3 あいさつ</li><li>4 自己紹介</li><li>5 議 事<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 委員長、副委員長の選出について</li><li>(2) 匝瑳市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について</li><li>(3) 地方創生加速化交付金を活用した事業の効果検証について</li><li>(4) その他</li></ol></li><li>6 閉 会</li></ol> <p><b>【議事内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 委員長、副委員長の選出について 委員長を鎌田元弘氏、副委員長を鈴木日出男氏に決定した。</li><li>(2) 匝瑳市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について 資料に基づき事務局から説明した。主な質疑・意見は次のとおり。</li></ol>

## 会 議 内 容

《委員長》

御質問、御意見等ありましたらお願いします。

《委員》

みどり平工業団地の業務状況はいかがでしょう。

《委員》

各企業の状況を100%把握しているわけではありませんが、自動車部品や食品に関する企業については、かなり忙しいようです。また、4社ほど建物の建て替えや増築をした企業があり、比較的そこからも業績の好調さがうかがえます。一方で、非常に厳しい状況の企業もあり、企業により差があるのが実情と思われま。

《委員》

ありがとうございました。空き工場は今あるのでしょうか。

《委員》

みどり平工業団地の敷地について空きはありませんが、月に1～3件空き状況についての問い合わせがあります。一方で1社稼働していない企業もあります。市の産業振興課に用地を拡張できないか提案していますが、現状では新たな企業を誘致するための場所がない状況です。

《委員》

現在操業中の企業において、人手は足りていますでしょうか。

《委員》

厳しい状況です。特に、交代勤務のある事業所においては、特に深刻です。現在、海匝地域振興事務所や東総工業高校と連携しながら、人材確保の取組を行っていますが、東総工業高校の生徒数が約120名のところ、全国から約1,800社を超える求人がありますので、企業間の競争は激しいです。みどり平工業団地全体における人材の充足率は7割程度かと思えます。

《委員》

みどり平工業団地では、求める人材数の何割程度獲得できていますか。又は獲得できそうですか。

《委員》

交代勤務のある事業所、特に製造業の現場においては、3割にも満たないと思います。事務については比較的充足できていますが、製造現場、特に職人的な職種が厳しく、手に職をもつ方を集めるのは至難の状況です。

《委員》

みどり平工業団地の良い点について、更なるPRをお願いしたいと思えます。

《委員長》

ありがとうございました。高校生の就職や、高校生のまちづくりへの参加に関連して、委員いかがでしょうか。

## 会 議 内 容

### 《委員》

高校生のまちづくりへの参加について、来週に匝瑳高校の生徒5名が匝瑳市長との意見交換会に参加予定です。

匝瑳高校の現状を申し上げますと、現在の1年生から8クラスが7クラスに減少しており、今後もクラス数の減少が見込まれます。そのため、この地域の人口減少は高校にとっても重要な課題です。進路状況については、1学年300人強の生徒数のうち、就職するのは約10名、そのほとんどが公務員を志望しています。それ以外は全員大学への進学を希望していますが、問題なのは大学卒業後にそれらの生徒を受け入れる職業がこの地域には乏しいことです。受け入れることができる職業の主なものとして、医療関係、教員、公務員、空港関係が挙げられます。

この地域に残りたい生徒はたくさんいます。受け入れ可能な職種について高校のうちから勉強し、大学卒業後はこの地域に戻ってきてもらうことを目指し、匝瑳高校ではキャリア教育を推進しています。1つは教職編として、八日市場小学校や八日市場第二中学校に、匝瑳高校の生徒を教職員の補助として派遣しています。看護編については、匝瑳市民病院や旭中央病院等で実習を行っています。医療編については、九十九里ホーム等で介護職や作業・理学療法等の実習を行っています。また、成田国際空港株式会社と連携し、キャリア教育のプログラムづくりに取り組んでいます。これらのキャリア教育には、各学年40～50人程度参加しています。これらの生徒が、大学卒業後にこの地域に戻ってくるための受け皿となる職を行政としても確保していく必要があると思います。これが雇用の促進につながり、また、他の基本目標の達成にも寄与すると思います。

### 《委員長》

ありがとうございます。キャリア教育を中心にした取り組みが将来生きてくると思います。他にいかがでしょうか。

### 《委員》

匝瑳高校の取組は素晴らしいと思います。区長会でも話題になりますが、この地域の出身者でも、大学卒業後に職がないため、他地域に転出していることが多くあります。事務局にお伺いしますが、市役所における新規採用職員のうち、市内在住者はどの程度いますか。

### 《事務局》

以前は地元出身・在住者がほとんどでした。詳しくは把握していませんが、最近では市外在住の職員が半分程度を占めていると思います。

### 《委員》

私の友人のお孫さんがプロ野球にドラフト指名されましたが、市役所においても優秀な高校生をドラフト指名し、奨学金で支援し、将来この地域に住んで就職してもらう取組も一案ではないでしょうか。看護師の人材が不足していますが、以前は各病院で奨学金を支給し、将来はその病院で働いてもらう取組が

## 会 議 内 容

ありました。市民病院においても、若い看護師はすぐにやめてしまうと聞いています。看護師は大変な仕事ですが、給料が良ければ勤務する傾向があるらしいので、特例で初任給を少なくとも民間並みにすること等はいかがでしょうか。市役所においても、採用人数のうち半分くらいは市内在住者にしたたり、商工会等でも賃金を上げる等、この地域で就職できる体制づくりをしてほしいと思います。

また、区長会において、現役世代は仕事の都合で会議等に参加できないといったことが多いです。若いリーダーが育たないことも問題です。匝瑳市の社会環境を、市としてリーダーシップをとって整えることが大切だと思います。

《委員長》

ありがとうございました。子育ての観点から委員いかがでしょうか。

《委員》

少子高齢化という状況の中、年々各小学校の児童数は減少しています。

また、結婚・出産・子育て支援の中で、市において婚活イベントを実施していると聞いています。人口減少や少子高齢化の実情を受け止め、今後子育て環境等をどう整備していくか考えることが大切だと思います。

私自身、旧八日市場市で生まれ、育ち、現在も生活していますが、近隣で勤務したことはありません。遠い所では、東京や埼玉まで通勤したこともあります。市内に勤務している人は少ないのではないのでしょうか。そのため、PTAの行事にも多忙で参加できない方が多いです。働ける場所の確保をはじめ、様々な観点から取り組む必要があると思います。

《委員長》

ありがとうございました。様々な事項を関連付けて取り組んでいくことが大切だと思います。不動産関連からみて、委員いかがでしょうか。

《委員》

この地域は農地が多く、新しく何かに取り組むときに農地を利用したい場合が多くあります。しかし、農地法や農振法の規制により、住宅や開発の足かせになっていると感じます。例えば、八日市場駅の南側に道路が整備されましたが、大利根用水から先は、道路の両側であっても住宅等の整備は容易ではありません。一方で、農林水産業の活性化も重要であると思いますので、これらの兼ね合いが難しい問題だと思います。

《委員長》

移住定住の側面から、いかがでしょうか。

《委員》

例えば、親の土地に住宅を建てる場合も、農地法や農振法の規制により難しいケースが多いです。農業を守る地域なので、そのような宿命もありますが、それらの点が開発を抑えている面もあると感じています。

《委員長》

農業の話題に関連して、委員いかがでしょうか。

## 会 議 内 容

《委員》

農地を守り、農業を振興していく立場から意見いたします。水田については大規模化が進んでいるため農業人口は減少していますが、畑については農地に余裕がありますので、これらを活用して就農し、地域で活躍していただければと思います。この地域は、ねぎやきゅうり等の栽培が盛んです。農協でも新規就農の支援を行っていますので、行政とタイアップしながら取り組んでいきたいと思います。

《委員長》

6次産業化の観点からはいかがでしょう。

《委員》

地元農産物を活用したドレッシングや酒づくりに取り組んでいますが、売れ筋の商品というまでには至らない状況です。

《委員長》

交流人口増加の観点から、委員いかがでしょう。

《委員》

昨年、八日市場駅前に「そうさ観光物産センター匝りの里」を整備しました。農家の方に農産物を搬入してもらっていますが、高齢化の影響もあり、量が少ないかと思えます。

また、植木組合により植木見本園の整備を行いました。ウォーキングを目的として、昨年は2～3千人の方が匝瑳市にいらっしゃいましたが、植木を見るだけで終わってしまっているのが、防犯上の懸念はありますが、販売できる植木を配置してはいかがかと思えます。

加えて、中央地区は盆踊りが盛んなため、市民参加の楽しいまちをアピールできればと思います。

《委員長》

駅の近くで楽しい取組ができると良いですね。ありがとうございます。続いて、委員いかがでしょう。

《委員》

行政の取組は総花的にならざるを得ないのは理解しますが、もう少しテーマを絞って、深掘りしたほうが良いと思えます。

また、KPIを見ると約半分は達成できていないので、それを70%、80%にするにはどうしたら良いのか考える必要があります。何事もやらなくてはいけないとの思いから1回はやりますが、1回やったら達成済みになってしまい、継続しない場合が多い。そうではなくて、何回もやって改善していく視点が重要だと思います。民間企業であれば特化できますが、行政では特化しにくい。行政でも特化できるような仕組みを考えることが重要です。このままでは全てが中途半端に終わってしまいます。

《委員長》

本質的な意見ですね。ありがとうございます。広域行政の立場から、委員

## 会議内容

いかがでしょうか。

《委員》

海匠地域で人口減少は共通の課題となっていますので、振興事務所としても対策に取り組んでいます。昨年度から、東総工業高校やみどり平工業団地と連携して、高校生に地元企業を知ってもらうための取組を行っています。今後は、東総工業高校だけでなく、さらに広げていければと思っています。

《委員長》

委員、今の御意見についていかがでしょうか。

《委員》

現在は、利益よりも人材不足が深刻です。場合によっては、将来、仕事があっても倒産してしまうケースが出てくるかもしれません。

委員がおっしゃったように、幅広くやるよりも絞る必要があると思います。個人的には、かなり危機的な状況だと思います。また、長期的な成果はもちろん、短期的に成果を出す視点も重要だと思います。匠瑛市民の方に、みどり平工業団地のことを知ってもらう必要があると考え、長期的な視点として「さんさん★フェスタ」に参加し、地域の子どもたちにみどり平工業団地のことを知ってもらえるようにしました。また、短期的な視点として、東総工業高校と海匠地域振興事務所と連携して、就職が近い高校生にみどり平工業団地のことをPRしています。工業団地の中には世界シェア6割をもつ会社等、有力な企業もあります。今年度もこの取組は継続する予定です。

また、商工会と連携し、従業員に地元で買い物をしてもらう仕組みづくりも検討しています。

さらに、地域における就職のミスマッチを減らすため、匠瑛市での企業説明会のようなものの開催を、海匠地域振興事務所と検討しています。

《委員長》

金融機関の立場から、委員いかがでしょうか。

《委員》

数は少ないですが、近年は当行における女性の高卒採用がみられ、東総地区でもそのようなケースがあります。

近隣で銚子市、匠瑛市、香取市は消滅可能性自治体になっていましたが、旭市はなっていませんでした。この差は何か考えましたが、大きな違いは見出せませんでした。ただ、旭市は国道沿いに多くの店舗があるなど感じます。また、旭には小さな分譲地が特に多いように感じます。

《委員》

同感です。理由は何でしょうか。

《委員》

商店が多いからだと思います。それにより女性が増え、男性も併せて増えているのだと思います。

## 会 議 内 容

《委員》

旭に人が多いのは、旭中央病院にNICU（新生児特定集中治療室）があるからだと思います。出産や小児科があることに対する安心感が大きいです。

《委員》

近年、この地域においても、何年か前と比べて求人が増えているなどと思いますが、業種によっては人材不足のところが多いと実感しています。仕事がないのではなく、良い仕事を選びたいという思いがミスマッチを招いているのではないのでしょうか。

《委員長》

ありがとうございました。非常にいい議論ができていると思いますが、時間の都合もありますので、次の議題に移りたいと思います。

（3）地方創生加速化交付金を活用した事業の効果検証について

資料に基づき事務局から説明した。主な質疑・意見は次のとおり。

《委員長》

お気づきの点等ありましたらお願いいたします。委員においては、CCRCの事業にも飯倉駅前地区まちづくり協議会委員として御参画いただいておりますが、いかがでしょうか。

《委員》

まずは植木関係の事業について申し上げます。ビジネス的には成功しているようですが、観光の側面からは課題が多いと思います。植木は匝瑳市における数少ない資源であるので、植木事業者の方々の意見を聞いて、理解を得るため、植木組合の観光部会をつくってはいかがでしょうか。観光はお金を使ってもらうことが大切です。お金を使うシステムづくりが必要です。外国人は、日本に来てもお金を使う場所がないと困っているそうです。どのように観光客を集め、お金を使ってもらうか、この仕かけづくりが大切です。この点を産業振興課と植木組合において考えていただきたいです。

CCRCについて、かつて飯倉駅前には大型ショッピングセンターがあり、駅の北側に多くの人々が都市部から移住してきました。CCRCを含めて、かつての駅前の賑わいを取り戻すことが必要だと思います。私自身も携わっていますが、賑わいをどう作っていくのが課題だと思います。

《委員長》

観光と植木の結びつけのお話がありましたが、その点について委員いかがでしょうか。

《委員》

委員がおっしゃったとおり、観光に来てお金を使ってもらう視点は大切だと思います。観光と植木の結びつけについて、やはり最初は行政がリーダーシップをとって取り組んでいただきたいと思います。

## 会 議 内 容

《委員長》

飯倉駅前の活性化について、本日は商工会からの委員が欠席ですので、委員いかがでしょうか。商工会とも連携しているようですので。

《委員》

確かに観光でお金を使ってもらうことは大切で、今までも買い物をしてもらう形がありましたが、今後は体験できるという要素が重要だと思います。先日、川越に行きましたが、とても賑わっていて驚きました。食事ができる場所が多くあることが理由の1つかと思います。今の時代に合った、体験と食事ができる場所があるという仕組みが大切だと思います。匝瑳市の植木のポテンシャルは大きいので、例えば手始めに、飯倉駅前等で物販を当番制で行う等してはいかがでしょうか。そして、良い点を評価し、悪い点を改善するという流れが必要だと思います。そのような取組を牽引していける別組織や、声かけできる強力なキーマンが集まれば、実践できると思います。

《委員長》

ありがとうございました。まだまだ御意見を伺いたいところではありますが、時間の都合もありますので、何かございましたら、事務局まで御意見をお寄せいただきたいと思います。

(4) その他

《委員長》

委員の皆様から何かございますか。

《一同》

なし。

《委員長》

事務局から何かありますか。

《事務局》

市では、情報提供の一環として、各種委員会の議事録を市ホームページで公開しております。つきましては、本日の会議の議事録等についても市ホームページで公開する予定ですので、よろしくお願いたします。

以 上